

昨年に引き続き、4年生は、このような学習を頑張っています！  
ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてください。

## ☆いのちの授業 (9/20・27)

現役の助産師・看護師の方を2回お招きして、いのちの大切さについて学びました。様々な資料を見せていただきながら、いのちの大切さや自分を大切にすること、自分を好きになることについて一生懸命に考えることができました。

- 【ねらい】
- ・自分の生まれるまでを知り、自分の「生」を肯定できるようにする。
  - ・自分の生まれてからの成長過程を知り、自分の「生」を肯定できるようにする。
  - ・第2次性徴について学び、心と身体の成長について理解できるようにする。



おなかの中の赤ちゃん(4か月)



おなかの中の赤ちゃん(7か月)



「へその緒」でお母さんとつながっているよ！



【子どもたちの感想】

みんな生まれる前から頑張っているいのちをつないでいたこと。生まれる時も命がけで頑張ったこと。そして、成長してきた道のり。これからの自分。子どもたちの数だけ「いのちのおはなし」があります。わたしたちはこの活動とおして、子どもたちに、自分には「生きるちから」があることを実感してもらいたいと願っています。

いのちの現場で働いているからこそ伝えることが出来る、わたしたちの「いのちのおはなし」は、子どもたちが「生きるため」のおはなしです。

いのちのおはなし岡山

- ・お話を聞いて、自分が大好きになりました。もし、私に赤ちゃんができれば大事に育ててあげたいです。
- ・赤ちゃんをうむお母さんは、うまれてくれたらあんなにうれしそうな顔をするんですね。わたしの将来の夢は、助産師さんです。最初は何も夢はなかったけど、いのちの授業をうけて助産師さんがいいなおもいました。
- ・一番心に残ったことは、卵子と精子のことです。卵子と精子があつたら命ができることを聞いて、わたしはすごいなと思いました。
- ・生理がきたときに男子たちからかわれるかと思ったけど、9/27に教えてもらったからもう安心しました。
- ・わたしは、お母さんやお父さんがこんなにも大変な思いをして育ててくれているのが分かりました。
- ・どうやって命が誕生するのか分かりました。これからぼくに子どもができれば大切にしたいです。
- ・子どもができるということは奇跡だということが分かりました。これからは、自分を大切に、いろいろな人にもやさしくしていきたいです。
- ・ぼくが生まれたばかりのとき、お母さんがすごくうれしそうにしていた写真を思い出しました。自分を大切にしたいです。